

\*\*\*\*\*2009.4.15\*\*\*\*\*

CGL NEWS Ⅲ Vol.28

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

\*\*\*\*\*

『CGL NEWS Ⅲ』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による  
平成19(2007)年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表について  
(環境省、経済産業省)
2. 「改正省エネ法(工場・事業場)に関する企業向け説明会」について  
(経済産業省)
3. 「バイオ燃料持続可能性研究会」報告書について  
(経済産業省)

★

温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による  
平成19(2007)年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表について  
(環境省、経済産業省)

★

環境省及び経済産業省は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度により事業者から報告のあった平成19(2007)年度の温室効果ガス排出量の集計・公表を行いました。

報告を行った事業所(者)数は、特定事業所排出者が14,841事業所(7,813事業者)、特定輸送排出者が1,447事業者でした。また、報告された特定排出者の温室効果ガス排出量の合計値は6億5,041万tCO<sub>2</sub>で、わが国の平成19(2007)年度排出量(速報値)約13億7,100万tCO<sub>2</sub>の約5割に相当します。

詳細は下記環境省ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11016>

★

「改正省エネ法(工場・事業場)に関する企業向け説明会」について  
(経済産業省)

★

昨年5月に「エネルギー使用の合理化に関する法律」(省エネ法)が改正されました。これまで一定規模以上の大規模な工場に対しエネルギー管理義務が課されておりましたが、今回の改正により事業所単位から事業者単位(企業単位)での

エネルギー管理が義務付けられることとなります。

同法の施行日は平成22年4月1日が予定されておりますが、平成21年4月より1年間のエネルギー使用量の計測・記録が必要となります。

そこで、資源エネルギー庁では、本年4月下旬から6月にかけて全国9箇所において「改正省エネ法(工場・事業場)に関する企業向け説明会」の開催を予定しております。

改正の概要及び説明会の詳細等は下記ホームページに掲載されておりますので、ぜひ一度ご参照ください。

<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080801/080801.htm>

\*なお、CGLにおきましては、グリーン物流研究会の5月度会合で、担当部局の方をお招きして、ご説明いただく予定です。

★

「バイオ燃料持続可能性研究会」報告書について  
(経済産業省)

★

バイオ燃料の導入は、食料との競合、生態系の破壊、経済性・供給安定性など様々な課題を克服しつつ、利用を進める必要があります。

経済産業省は、農林水産省、環境省、内閣府の参加を得て「バイオ燃料持続可能性研究会」を開催し、日本版のバイオ燃料持続可能性基準の策定に向けて調査・検討を行い、今回、報告書を作成・公表いたしました。

詳細は下記経済産業省ホームページをご参照ください。

<http://www.meti.go.jp/press/20090414004/20090414004.html>

\*\*\*\*\*

【編集後記】

今日は4月15日。ヘリコプターの日。

ヘリコプターの原理を考え出したとされる  
レオナルドダビンチの誕生日にちなんで制定されたそうです。

さて、4月も半ば。皆様の中にも新入社員の集合研修の講師をされている方もいるのではないのでしょうか。

私が体験した研修の中に「自社の製品を分解する」というものがありました。自分のグループは「電話機(の試作品)」で、見たところ1、2分で分解できそうな感じでしたが、実際には特殊なナットが使われていて、

我々が持っている工具では太刀打ちできません。  
講師に相談すると、「自分たちで考えろ」と言われたため、  
電話機の設計部門まで行き、事情を説明して専用の工具を借りてきて  
(これも研修の一環?)、ナットをはずしてカバーを開けてみると、  
中には簡単なプリント基板が1枚程度しかなかったように記憶しています。  
その後は、プリント基板についていた抵抗やコンデンサの値を  
読み取って終わりましたが、  
今ならば、3Rの話、環境配慮設計の話などに展開すると  
面白いただろうなと思います。

\*\*\*\*\*CGLNEWS III 配信について\*\*\*\*\*

- 本メールは第3期ロジスティクス環境会議  
代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただ  
いている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)
  - 発信元:社団法人日本ロジスティクスシステム協会
  - お問い合わせ、配信停止・変更は: [cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)
- (C)CGL NEWS All Rights Reserved.

\*\*\*\*\*